

# 2025年5月 中医学カンファレンス 胃腸が弱い、夕食が食べられない、便秘

東桂メディカルクリニック 副院長 渡邊 祐登

# 東桂メディカルクリニック

- 山梨県都留市に位置する有床診療所（19床）
- 内科一般、小児、皮膚科、泌尿器系の患者さんが多い。
- 外来、入院病棟(19床)、訪問診療がメイン
- 私は富士河口湖町出身で、2023年より千葉県より転居。



# 35歳女性：胃腸が弱い、夕食が食べられない、便秘

## 【現病歴】

X-6年ごろから胃腸が弱いことを自覚。朝と昼は普通に食事摂取できるが、夕食は食べると気持ち悪くなってしまい数口しか食べられない。また便秘もX-3年前ごろよりありマグミットを服用している。一時期軽快することもあったが、X-2年ごろより症状が再燃したため、X年3月、当院の外来で相談。

増悪因子：子供の具合が悪くなるなど心配事があると食べられなくなる。

寛解因子：特になし

食事内容：朝パン1枚、昼は普通に食べられる、夕はご飯とおかず少量

【既往歴】 ピロリ菌陽性で除菌（29歳） それ以後胃カメラは実施していない

【アレルギー歴】 薬、食べ物では特になし。花粉症あり

【生活背景】 夫、子供二人、夫の両親の6人で生活

【内服歴】

ビラノア、小青竜湯（頓用で使用）、シナール、ユベラ、トランサミン、ノイロビタン、マグミット

【性格】

やや緊張しやすいタイプ（渡邊の印象、本人も自覚あり）

- 寒熱：冷え性ではなく、特に汗かきでもない
- 睡眠：良好
- 排便：普段は3日に1回、マグミットを内服して毎日  
排尿：排尿は普通。

- 水毒  
乗り物酔いあり、車酔いがひどい、立ちくらみも時々あり  
気圧の変化で頭痛がしやすい

- 月経関連情報  
生理痛はあるが、痛み止めは使用していない。血塊少量あり  
PMS@出産前は泣きなくなる、落ち込みが目立った。出産後は改善したが時々出ることがある。

# 身体所見

【身長体重】 160 cm 54 kg BMI 21

【脈診】 両側細、軟

【舌】 紅、薄白苔、やや潤

【腹診】 腹力2/5 臍傍悸あり

# アセスメント

気虚、気滞、血虚、瘀血、水毒

脾気虚が主と考えた。脾の推动作用の低下、および水毒傾向があることから、痰湿を伴っていると考えた。

また気滞傾向もあり、肝気の疏泄失調が脾の不調を引き起こしており、肝脾不和の状態にあると考えた。

PMSの落ち込み症状は血虚を示唆した。

# アセスメント

水毒が目立ち、茯苓飲を処方したところ、胃の痛みは改善し、少し夕食が食べられるようになった。状態改善したので減量を提案したが、減量したら調子が悪いとのことで3T分3で継続。

今後は経過を見て気滞へのアプローチ強化のため茯苓飲合半夏厚朴湯への変更や血虚・水毒の治療強化を検討中。